

【参考】建設キャリアアップシステムの構築

- 将来にわたり建設産業の担い手を確保していく上で、技能者のキャリアアップの道筋を示すこと、技能者が適正な評価と処遇を受けられていくことが重要
- 技能者の資格等の情報や現場での就業履歴等を業界統一のルールで蓄積する「建設キャリアアップシステム」の構築に向け、官民で検討を進めてきたところ（参加団体：日建連、全建、建専連、全建総連 等）
- 平成30年秋からの運用開始に向けて、システムの運営主体となる(一財)建設業振興基金においてシステム開発中



現場入場の際に読み取り



技能者情報のイメージ

ID	123456789012		
氏名	建設 太郎		
生年月日	S55-1980/07/28		
保有資格	登録基幹技能者	型枠	2016.06.20
	技能講習	玉掛け	2008.05.21
特別教育	ロープ高所作業 2005.11.09		
社会保険加入状況	退職金共済		
建保	<input type="radio"/>	協会建保	建退共 <input type="radio"/>
年金	<input type="radio"/>	厚生年金	
雇用	<input type="radio"/>		

就業履歴情報のイメージ

雇用事業者	現場名	就業年月	就業日数
○建設	××ビル	2019.6	22日
○建設	□□住宅	2019.7	19日
○建設	国道△△号	2019.8	11日
計	3現場		52日

【事業者情報】

- ・商号
- ・所在地
- ・建設業許可情報 等

【現場情報】

- ・現場名
- ・工事の内容 等

【技能者情報】

- ・本人情報
- ・保有資格
- ・社会保険加入状況 等

＜情報の登録＞

技能者にカードを交付

＜就業履歴の蓄積＞

建設キャリアアップシステム(運営主体:(一財)建設業振興基金)

システムを活用した技能者の処遇改善に向けた検討

- ・システムの利用により、技能者ひとりひとりについて、どのような資格を持ち、どの現場で何日就労したかが蓄積される
- ・今後、システムに蓄積される情報（保有資格や就業履歴）を活用した、技能者の能力を評価する基準の検討を進める予定
- ・併せて、この技能者の評価と連携した専門工事業者の施工力の見える化の検討にも取り組む予定